

とどろけ淵のメツケ

演出・脚色/北村直樹(人形芝居ひつじのカンパニー)
原作/富安陽子(佼成出版社刊)

いのちの水をとりもどせ

だいぼうけん
めつけ!



カッパ族の歴史の謎を追って、
三匹のカッパの子どもが冒険の旅に出る!

冒険の目的地

りゅうじんぬま
竜神沼

大ガメ

竜神沼で出会う巨大なカメ

ヨツシヤ

力自慢のカッパ。
大相撲大会での優勝を
目指しているが
ひとり早く出過ぎて迷子になる。
「よっしゃ！」が口癖。



メツケ

とどろけ淵で一番小さい少年カッパ。
目がよくて、何かを観察するのが大好き。
「めっけ！」が口癖。



ツツカ

女の子のカッパ。
カッパ族の歴史など、昔の事を
調べたり考察するのが好き。
「そっか！」が口癖。

りゅうびがわ 竜尾川

前年の優勝者・千尋坊が頭領の
かねがふち
鐘ヶ淵

ウロウロに出会った川辺

ほかのカッパたちが住む
ふじぶち
藤ヶ淵

ウロウロ

影の塊となって放浪する
不思議な存在

メツケが登った木

ヨツシヤが迷子になった森

大イノシシ

メツケに不思議な
力の石をくれる母イノシシ

ウリ坊

迷子になった子イノシシ

大イノシシに出会う

最初に水が無くなった
りゅうがたき
竜ヶ滝

ここが冒険の
はじまり!



メツケたちが住む
とどろけ淵

あらすじ

カッパの子ども「メツケ」が住む
とどろけ淵には、滝から水が
豊かに流れ落ちていて、
沢山のカッパたちが棲んでいました。
メツケは淵の中で一番子じすけでしたが、
とてもよく見える目を持っていて、
見たことのないものを見つけると
夢中になってしまいう子どもでした。

カッパの一族は年に一度、
水源の竜神沼で「夏越しの大相撲大会」
を開いて、その年の頭領を決める
というのが習わしでした。
その大相撲大会に、メツケは一度も
連れて行ってもらった事がありません。
今年も留守番になってしまったメツケは、
皆が出かけてしまった淵で
異変に気がきます。

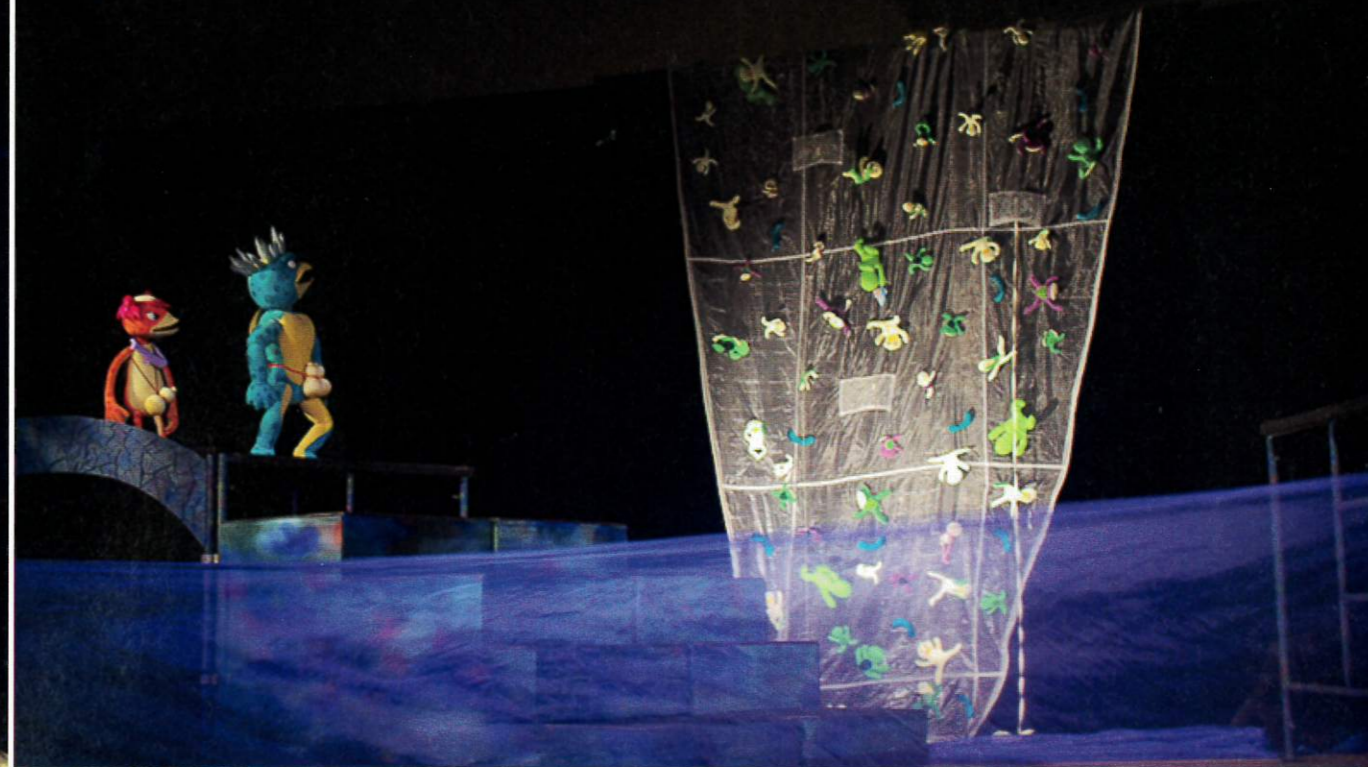
いつもは大きな音をたてて
流れ落ちてくる竜ヶ滝の水が
落ちてこなくなっているのです。
「水が止まった？こんなこと初めて！」
カッパにとって水は命。
干涸らびたら死んでしまいます。
滝が止まった原因を突き止めに
メツケは涸れた滝を
登って行く事にしました。

途中で出会ったのは、
女の子カッパのソツカと
力自慢カッパのヨツシヤ。
一緒に竜神沼を目指すのですが、
興味も性格も随分違う三人は
なかなか気が合いません。
しかも、不思議な力の石を
大イノシシからもらったり、
正体不明の黒い影「ウロウロ」に
追いかけられたり、
メツケたちの行く手には謎がいっぱい！

オープニングシーン（水の中を泳ぎ回るカッパや魚たち）



空から降ってくるカッパたち



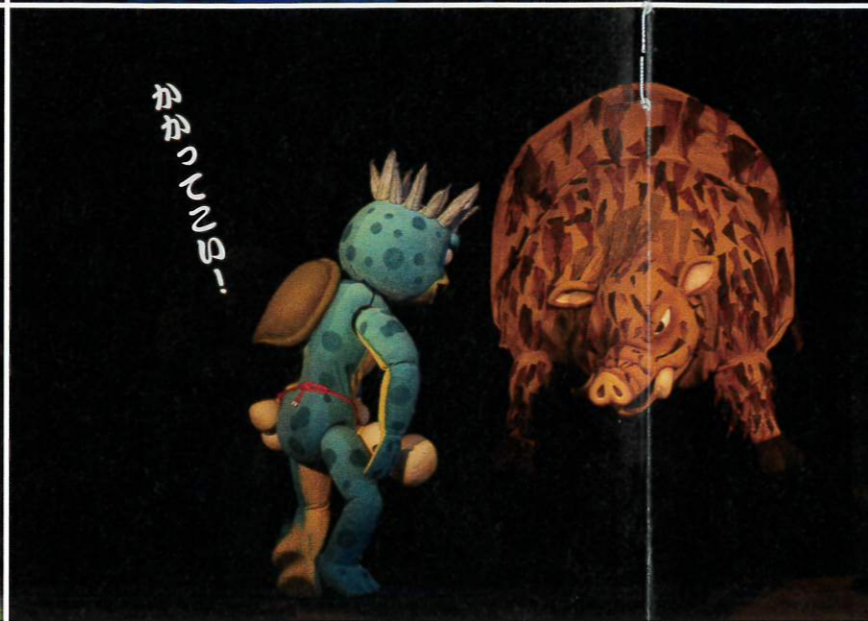
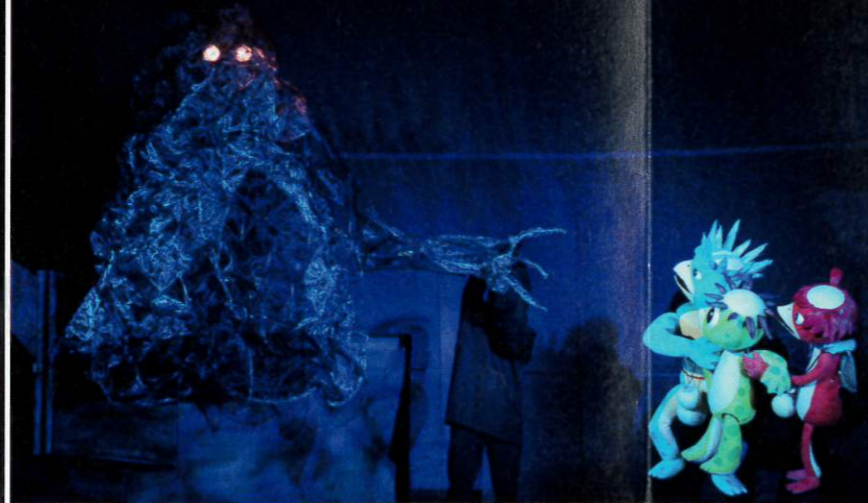
大相撲大会に向けて出発する とどろヶ淵のカッパたち



大ガメとの対峙



ウロウロとの遭遇



ホタルに包まれるメッケ

ドキドキわくわくを子どもたちに!

～50日間の願いを～

演出：北村直樹

この物語に人間は出てきません。そこが好きなところの一つです。

たいていカッパの子が主人公だと、人間の子どもの友情物語だったり、カッパが棲む河の水が突然濁れると原因は人間社会が生み出す環境破壊だったりします。そんなありがちな設定とは全く無縁に、登場するのはカッパと自然界の動物だけです。

大切な命の水を取り戻して仲間たちを救うためにカッパ族の歴史の謎を追って、三匹のカッパの子どもが冒険の旅に出る、この大きなスケールの物語のドキドキを、客席の子ども達に感じて欲しい。

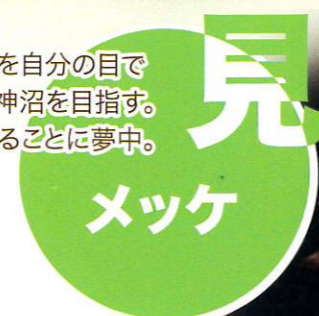
キラキラと陽射し舞う水の中を舞台いっぱいに泳ぎ回るカッパや魚、ウロウロと呼ばれる恐ろしい「黒い影」の人形の登場、高い空から降ってくる大勢のカッパ! 人形劇の思わぬ舞台表現に大人も子どもも一緒にワクワクして欲しい。そんな願いをこめて「メッケ」を創った稽古場での50日間は、チームみんなで模索と実験と歓喜の繰り返しでした。その成果を、どうぞお楽しみに!



水が消えた謎を解き、カッパ族の未来のために巻物に自分の手で書き記そうとしている。



カッパ大相撲大会で優勝し、水分岳のカッパ一族の頭領になることを目指している。



水が消えた謎を自分の目で見ると、未知の物を見ることに夢中。

いただいた感想

メッケがおもしろかった。みんなの口ぐせが名まえになっておもしろかった。ウロウロこわかったけど、ほんとうはいいもんやった。石がほしくなった。【小学校1年生女子】

メッケが地のそこにとびこんだ時はこわかったです。メッケがもどってきた時はかんどうしました。ヨッシャとソッカがメッケのことをわすれてしまった時はどうなるかと思いました。【小学校3年生女子】

メッケも純粋でいいけれど、僕は真っ直ぐに進むヨッシャが好きです。この話にはそれぞれの個性を大切にしようというメッセージがあると思う。だからいろいろ謎があるストーリーだけど、観る人もそれぞれの個性で自由に想像したらいいと思う。【中学3年生男子】

人形も可愛く、ストーリーも大人もひきこまれるお話でした。三百年前にいけにえになったウロウロの不思議さなども残したままで、とても良かったと思います。子どもも楽しんでいました。素敵な世界をありがとうございました。【成人女性】

原作情報

原作は児童書作家として著名な富安陽子さんの著作です。本作の他にも沢山の作品を出版しておられるところから、観劇後の読書活動にも繋げていただけたと思います。



佼成出版社刊

「人形劇舞台化への思い」

制作 山本いずみ

富安陽子さんの原作に出会った時、カッパのコミュニティの中で変わりものとして軽視されていたメッケが、この事件を通してカッパの国のみならず、水に棲む生き物全体の命について考えるように成長していく姿に惹かれました。同じくソッカやヨイシヨとコランヨ(劇中ではヨッシャというひとつのキャラクターに統合しています)にも集団から浮いてしまう何かがある。そんな彼らが力を合わせてカッパの国を救うこの大冒険の物語を、観客の子どもたちに生きていく勇気をプレゼントできる人形劇に創りたいと思いました。



みどころ2

魅力いっぱい登場キャラクターたち

メッケ、ソッカ、ヨッシャの他にも、個性的なキャラクターが沢山登場します。不思議な力を持つ石をくれる「大イノシシ」。水の濁れた竜神沼で出会う「巨大なカメ」。水辺をさまよっている正体不明の存在「ウロウロ」。物語の謎を解くカギになるキャラクターたちが、観る人を物語の中にくぐりと引き込みます。



みどころ1

舞台いっぱいに泳ぎ回るカッパや魚

会場に入ると舞台いっぱいにキラキラと揺れる青い水の世界が広がっています。そこへカッパや魚たちが登場し、スイスイと泳ぎ回ります。クライマックスでは、高い空から水と大勢のカッパたちが降ってきます。人形劇だからこそ可能な表現、舞台美術を楽しめます。



みどころ4

ストーリーをいろどる多彩な音楽

カッパたちが踊る盆踊り風の「カッパソング」にはじまり、謎を解くカギになる演歌調の「勝ちガッパの歌」など多彩な音楽がストーリーを盛り上げます。エンディングテーマはミュージカル風にカッパの国に水が戻った喜びを歌いあげます。



みどころ3

仲間と共に成長する主人公メッケ

淵で一番小さいメッケが、カッパの命である水を取り戻しに行く大冒険のお話です。自分の興味中心の狭い世界で生きていたメッケが、この冒険の旅を通して大きく成長していきます。カッパの国のみならず、水に棲む生き物全体の命について考えるように成長していくメッケ。そしてその成長はソッカ、ヨッシャとの出会いなしにはありえなかったのです。カッパ族が忘れてしまっていた宿命の謎を解くことが出来たのもメッケ一人では出来なかった事でした。仲間との出会いが大きな可能性を広げるエネルギーとなりうることを信じて、この舞台をお届けします。

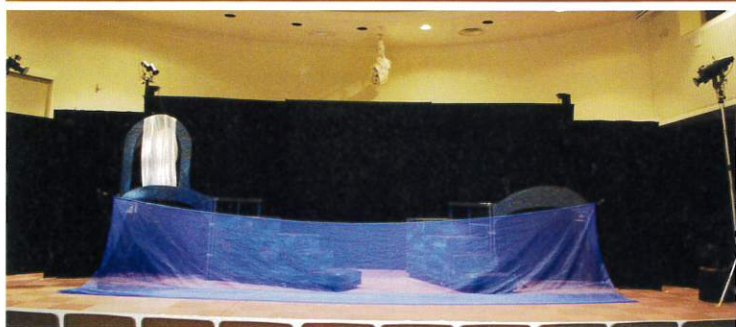


これを読み込むと
動くカッパたちが観られるよ。
観てみてね♪



『とどろヶ淵のメッケ』 ダイジェスト動画

舞台全景



舞台全景 (間口 14m 奥行き 8m 高さ 5m)

高低差も使った広い舞台の中を、人形たちがダイナミックに動き回ります。500人の観客にも届く大型人形劇です!

人形の大きさ



大きい人形は1m以上。
色鮮やかで、個性豊かな
人形たちが登場します。

舞台諸条件

上演時間	75分
観客数	~500人
設営時間	180分 ※平らなフリースペースの場合 (固定席ホールの場合は300分必要)
片付け時間	120分
電源容量	3線60A (分電盤から直接配線します)
出演人数	7名
車輛	2tトラック+乗用車1台



人形劇団京芸



ホームページ <http://www.kyougei.com/>

1949年創立。日本でも有数の歴史を持つ現代人形劇のプロ劇団。京都府宇治市に稽古場を構え、近畿圏の小学校・幼稚園・保育園での公演活動を中心に、さらには全国のおよこ劇場や地域のイベント、文化庁の公演などでも数多くの人形劇上演をおこなっている。文化庁芸術祭優秀賞を受賞した「モモ」や、日本人形劇大賞金賞の「魔女のたまご」「ちいさくなったパパ」など受賞多数。最近では、幼児向け作品「おもしろげきじょう」が第23回アシテジ韓国国際フェスティバルに招聘され、平成27年度厚労省社会保障審議会児童福祉文化賞も受賞。

近年の代表作に

「漫才の星になるんや」
「火よう日のごちそうはひきがえる」
等がある。



上演のお申込み・お問合せは

TEL 0774-21-4080

〒611-0022 京都府宇治市白川鍋倉山35-20
FAX.0774-21-4092 E-mail.office@kyougei.com